

大分商工会議所

中小・小規模企業のIT化推進事業について

商工会議所は、人手不足の解消や労働生産性向上のため積極的にIT化に取り組む会員事業所を応援します!!

中小・小規模企業の労働生産性は、すべての業種において大企業を下回る水準であり、IT投資を行っている中小企業と、そうでない中小企業では売上高、および経常利益率において大きな格差が生じています。こうした現状に鑑み、大都市と地方、あるいは大企業と中小・小規模企業の格差を是正し、日本経済の根幹を支える中小・小規模企業の生産性の向上、活力ある経済活動の促進を図るため、大分商工会議所では、IT化への積極的な取り組みを後押しすることを目的として、以下の3事業（マル経資金利子補給、IT化促進セミナー、専門家によるIT化診断）を新規事業として実施いたします。

1. マル経資金利子補給

補助金を活用しIT導入を図っても、上限額や補助率の関係で自己負担が発生します。その場合、自己資金で導入する場合を除き借入をしなければなりません。マル経資金※¹を利用しIT化投資を実施する事業者については、金利負担の大きい当初1年間のみ、支払利子のうちIT投資部分に係る支払利子の2分の1を当所が負担し、中小・小規模企業のIT化促進を後押しします。

※¹ マル経資金(小規模事業者経営改善資金)ホームページ(<http://oita-cci.or.jp/yuushi>)

2. IT化促進セミナー

中小・小規模企業のIT化への気づきや生産性向上への理解を深めるため、年間2回程度セミナーを開催。セミナーでは、IT導入補助金※²やレジ補助金等※³の活用方法や導入事例の紹介を行い、セミナー終了後には専門家や支援機関等による個別相談会なども実施予定、これにより専門家によるIT化診断へ繋げる取組みとします。

※² IT導入補助金専用ホームページ (<https://www.it-hojo.jp/>)

※³ レジ補助金(消費税軽減税率対策補助金)ホームページ (<http://kzt-hojo.jp/>)

3. 専門家によるIT化診断

主にセミナー聴講者を対象と想定しますが、セミナー聴講者以外でも受け付けます。自社にとってのIT化導入レベル、導入による自社の経営改善の度合いなどについて、専門家の診断により導入に向けた客観的な判断を促します。基本的には、ビジネス何でも応援隊登録サポーター等の専門家を活用し、3回までは当所が専門家派遣に係る費用を負担します。